

関東つくば銀行

調査情報

2009年1月号 No.21

茨城県内企業経営動向調査

調査実施時点	2008年12月
調査対象期間	2008年10～12月 2009年1～3月、2009年4～6月見通し
調査の方法	郵送による記名式アンケート
調査対象	弊社取引先茨城県内企業 977社
回答企業数	436社

目次

茨城県内企業経営動向調査（2008年12月）

1. 概況	1
2. 項目別総括表	2
3. 業種別景況天気図	3
4. 業種別動向と見通し	
(1) 自社業況判断D I	5
(2) 売上・生産D I、受注D I	6
(3) 販売価格D I、仕入価格D I	7
(4) 取引条件（受取(回収)D I、支払D I）	8
(5) 金融（資金繰りD I、長期・短期借入難易D I）	9
(6) 在庫D I	10
(7) 経常利益D I	10
(8) 雇用D I	11
(9) 設備投資	12
(10) 経営上の問題点	14
5. 地域別の状況	15

茨城県内企業経営動向調査 (2008年12月)

1. 概況

(1) 2008年10～12月期実績

景況天気図 (売上・生産 DI、経常利益 DI、資金繰り DI の平均値) で表した茨城県内企業の全産業の景況感は、前回調査 (2008年7～9月期) 「雨」が引き続き「雨」となった。平均値は△40 で前回調査実績より9ポイント悪化し、2003年10～12月期の調査開始以来最低値となった。

地域別の景況天気図は、県央地域が「曇」、県南地域、県西地域、鹿行地域、県北地域は「雨」となった。

自社業況判断 DI は、全産業は△59.9 で前回調査実績に比べ13.6ポイント「悪化」超幅が拡大し、悪化した。製造業は同23.7ポイント、非製造業は同9.5ポイント「悪化」超幅が拡大し、調査開始以来最低値となった。

売上生産 DI は△48.0 と、調査開始以来の最低値となり、経営上の問題点の第1位も「売上・生産の停滞、減少」となった。**資金繰り DI** は△27.3 と2003年10～12月期の調査開始以来の最低値となり、売上・生産の停滞、減少が、企業の資金繰りに影響を及ぼし続けている。

設備投資を実施した企業の割合は24.8%で、前回調査実績より1.2ポイント減少した。設備投資の目的は前回調査実績同様「現有設備の維持更新」が最も多い。

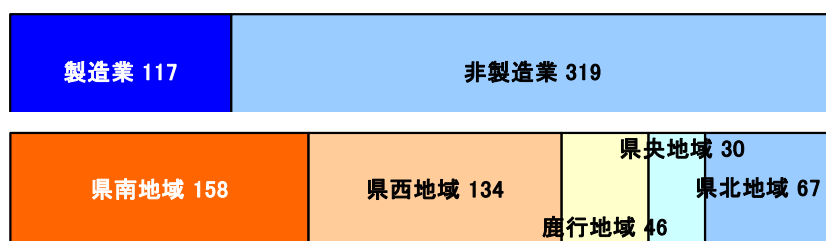
(2) 2009年1～3月期、2009年4～6月期見通し

景況天気図は、全産業で2009年1～3月は「雨」、2009年4～6月は「曇り」で推移する見通しである。

自社業況判断 DI は、全産業で2009年1～3月は横ばいで推移し、2009年4～6月は「悪化」超幅が縮小する見通しである。

販売価格 DI は全産業で2009年1～3月は「悪化」超幅が拡大し、2009年4～6月は「悪化」超幅が0.5ポイント拡大する見通しである。**設備投資**の計画がある企業の割合は今回調査実績に比べ、減少する見通しである。

(3) 調査企業 回答企業 436社



地域別回答企業の割合

県南地域 36.2%、県西地域 30.7%、鹿行地域 10.5%、県央地域 6.8%、県北地域 15.3%
※県南地域・県西地域の企業で66.9%を占める

(4) DI (ディフュージョン・インデックス) の算出

前年同期に比較して「好転」・「増加」・「上昇」した (もしくはする見通し) と回答した企業の割合から、「悪化」・「減少」・「低下」した (もしくはする見通し) と回答した企業の割合を差し引いて算出する。

2. 項目別総括表

		前々回調査実績 2008/4～6	前回調査実績 2008/7～9	今回調査実績 2008/10～12	見通し 2009/1～3	見通し 2009/4～6
1	自社業況判断	△ 42.6	△ 46.3	△ 59.9	△ 59.8	△ 42.2
2	売上・生産	△ 28.6	△ 32.5	△ 48.0	△ 55.2	△ 41.3
	受注	△ 22.2	△ 27.2	△ 48.9	△ 57.8	△ 37.5
3	販売価格	10.8	9.0	△ 9.2	△ 20.4	△ 20.9
	仕入価格	69.7	75.7	36.7	6.0	△ 0.3
4	受取(回収)条件	△ 7.7	△ 6.9	△ 7.3	△ 6.1	△ 5.2
	支払条件	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	1.0
5	資金繰り	△ 17.6	△ 21.1	△ 27.3	△ 25.8	△ 21.1
	長期借入難易	△ 9.9	△ 11.3	△ 15.7	△ 18.9	△ 15.1
	短期借入難易	△ 8.8	△ 9.9	△ 15.9	△ 18.1	△ 14.5
6	在庫	△ 12.9	△ 15.0	△ 20.8	△ 12.2	△ 5.6
7	経常利益	△ 35.9	△ 39.2	△ 45.3	△ 44.6	△ 37.2
8	雇用	△ 1.2	1.7	1.6	7.4	9.5
※前年同期比較によるDI						
9	設備投資	23.7%	26.0%	24.8%	16.1%	13.3%
10	経営上の問題点	2008/10～12調査の第1位は: 売上・生産の停滞・減少				

※ 設備投資の2009年1～3月、4～6月は計画

- **自社業況判断DI**は△59.9と前回調査実績に比べ13.6ポイント「悪化」超幅が拡大した。
- **売上・生産DI**は△48.0と前回調査実績に比べ15.5ポイント「減少」超幅が拡大した。
- **受注DI**は△48.9と前回調査実績に比べ21.7ポイント「減少」超幅が拡大した。
- **販売価格DI**は△9.2と前回調査実績に比べ18.2ポイント「低下」超幅が拡大し「低下」超に転じた。
- **仕入価格DI**は36.7と同39.0ポイント「上昇」超幅が縮小した。
- **受取(回収)条件DI**は△7.3と前回調査実績に比べ0.4ポイント「悪化」超幅が拡大した。
- **支払条件DI**は△0.7と前回調査に比べ0.4ポイント「悪化」超幅が拡大した。
- **資金繰りDI**は△27.3と前回調査実績に比べ6.2ポイント「困難」超幅が拡大した。
- **長期借入難易DI**は△15.7と同4.4ポイント「困難」超幅が拡大した。
- **短期借入難易DI**は△15.9と同6.0ポイント「困難」超幅が拡大した。
- **在庫DI**は△20.8と前回調査実績に比べ5.8ポイント「過剰」超幅が拡大した。
- **経常利益DI**は△45.3と前回調査実績に比べ6.1ポイント「減少」超幅が拡大した。
- **雇用DI**は1.6で前回調査実績に比べ横ばいとなった。
- **設備投資を実施した企業の割合**は24.8%と前回調査実績に比べ1.2ポイント減少した。
- **経営上の問題点**は、第1位「売上・生産の停滞、減少」、第2位「原材料・仕入高」、第3位「資金繰り悪化」となった。

3. 業種別景況天気図

(1) 業種別景況天気図 [「売上・生産」・「経常利益」・「資金繰り」 D I の平均値]

	全産業	製造業	食料品	繊維	木製品	金属材料	金属製品	機械	その他製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸業	情報通信業	サービス業 飲食業
2007年 10~12月 実績																
	△ 14	△ 3	△ 9	△ 50	20	△ 6	3	△ 2	△ 19	△ 15	△ 30	△ 24	△ 19	67	△ 19	
2008年 1~3月 実績																
	△ 19	△ 8	△ 3	50	△ 8	△ 14	△ 3	△ 11	△ 24	△ 20	△ 41	△ 14	△ 26	22	△ 25	
2008年 4~6月 実績																
	△ 27	△ 19	△ 9	△ 83	△ 26	△ 17	△ 9	△ 26	△ 31	△ 20	△ 42	△ 38	△ 36	△ 20	△ 30	
2008年 7~9月 実績																
	△ 31	△ 26	△ 22	△ 67	0	△ 28	△ 29	△ 27	△ 33	△ 28	△ 33	△ 39	△ 42	△ 33	△ 30	
2008年 10~12月 実績																
	△ 40	△ 44	△ 13	△ 67	△ 33	△ 61	△ 30	△ 54	△ 39	△ 40	△ 29	△ 45	△ 39	8	△ 38	
2009年 1~3月 見通し																
	△ 42	△ 50	△ 28	△ 67	△ 42	△ 48	△ 51	△ 58	△ 39	△ 39	△ 35	△ 39	△ 40	0	△ 41	
2009年 4~6月 見通し																
	△ 33	△ 30	△ 15	△ 67	△ 8	△ 24	△ 33	△ 37	△ 34	△ 39	△ 34	△ 26	△ 41	0	△ 35	

※小数点第1位を四捨五入



	快晴	……	100~	30
	晴れ	……	29~	10
	薄曇り	……	9~	△5
	曇り	……	△6~	△30
	雨	……	△31~	△100

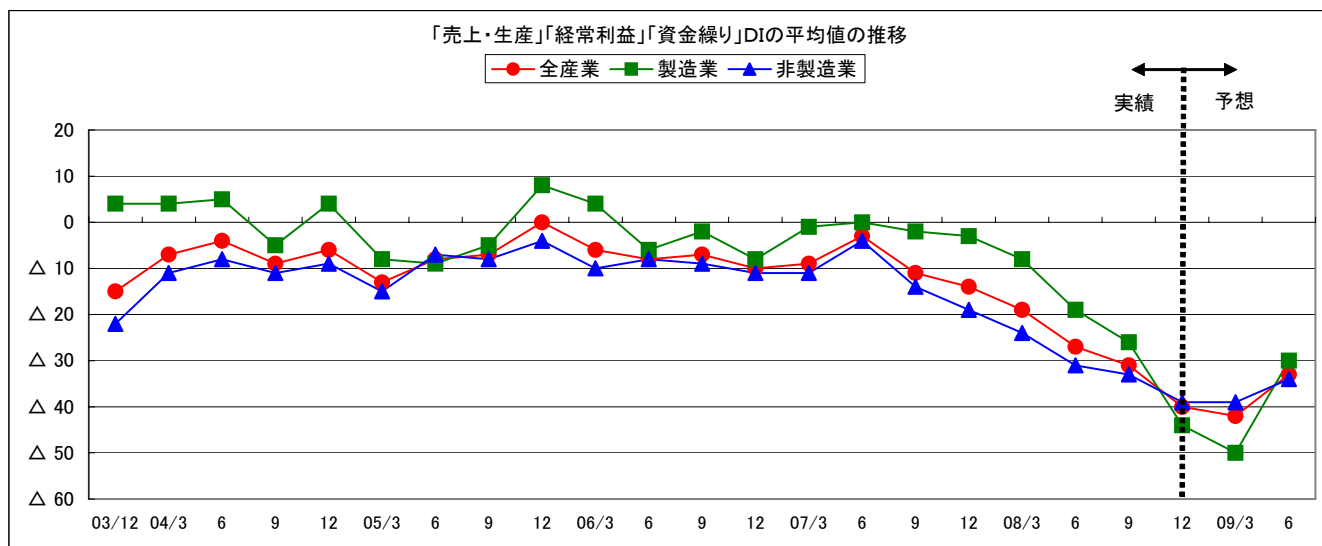
(2) 「売上・生産」・「経常利益」・「資金繰り」DIの平均値
(天気図に表すための平均値)

	前々回調査実績 2008/4~6	前回調査実績 2008/7~9	今回調査実績 2008/10~12	見通し 2009/1~3	見通し 2009/4~6
全産業	△ 27	△ 31	△ 40	△ 42	△ 33
製造業	△ 19	△ 26	△ 44	△ 50	△ 30
食料品	△ 9	△ 22	△ 13	△ 28	△ 15
繊維	△ 83	△ 67	△ 67	△ 67	△ 67
木材・木製品	△ 26	0	△ 33	△ 42	△ 8
金属製品	△ 17	△ 28	△ 61	△ 48	△ 24
機械	△ 9	△ 29	△ 30	△ 51	△ 33
その他製造業	△ 26	△ 27	△ 54	△ 58	△ 37
非製造業	△ 31	△ 33	△ 39	△ 39	△ 34
建設業	△ 20	△ 28	△ 40	△ 39	△ 39
卸売業	△ 42	△ 33	△ 29	△ 35	△ 34
小売業	△ 38	△ 39	△ 45	△ 39	△ 26
運輸業	△ 36	△ 42	△ 39	△ 40	△ 41
情報通信業	△ 20	△ 33	8	0	0
サービス業・飲食業	△ 30	△ 30	△ 38	△ 41	△ 35

※小数点第1位四捨五入

(3) 業種別景況天気図の前回調査との比較

	前回調査実績 2008/7~9	今回調査実績 2008/10~12	前回調査との比較
全産業	△ 31 	△ 40 	△ 9
製造業	△ 26 	△ 44 	△ 18
非製造業	△ 33 	△ 39 	△ 6



4. 業種別動向と見通し

(1) 自社業況判断D I

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
全産業	△ 42.6	△ 46.3	△ 59.9	△ 41.9	△ 59.8	△ 29.0	△ 42.2
製造業	△ 34.6	△ 39.5	△ 63.2	△ 34.5	△ 65.8	△ 17.1	△ 38.1
食料品	△ 11.1	△ 45.0	△ 23.5	△ 35.0	△ 41.2	△ 10.5	△ 29.4
繊維	△ 50.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 50.0	△ 100.0	0.0	△ 100.0
木材・木製品	△ 42.9	△ 16.7	△ 50.0	△ 16.7	△ 25.0	0.0	0.0
金属製品	△ 45.8	△ 44.0	△ 70.8	△ 19.2	△ 65.2	△ 16.0	△ 37.5
機械	△ 21.4	△ 39.1	△ 61.9	△ 41.7	△ 71.4	△ 25.0	△ 38.1
その他製造業	△ 43.8	△ 34.9	△ 73.9	△ 41.5	△ 75.0	△ 19.5	△ 42.2
非製造業	△ 46.1	△ 49.1	△ 58.6	△ 45.0	△ 57.5	△ 34.1	△ 43.8
建設業	△ 46.1	△ 46.3	△ 53.1	△ 38.8	△ 53.8	△ 35.4	△ 42.5
卸売業	△ 63.2	△ 60.5	△ 45.5	△ 57.9	△ 48.5	△ 42.1	△ 39.4
小売業	△ 46.9	△ 47.9	△ 71.9	△ 31.9	△ 57.9	△ 20.0	△ 36.8
運輸業	△ 39.3	△ 56.0	△ 65.8	△ 50.0	△ 60.5	△ 39.1	△ 54.1
情報通信業	0.0	△ 33.3	△ 50.0	△ 33.3	△ 50.0	33.3	△ 25.0
サービス業・飲食業	△ 43.2	△ 46.1	△ 57.3	△ 51.1	△ 63.4	△ 37.5	△ 48.1

※前年同期比

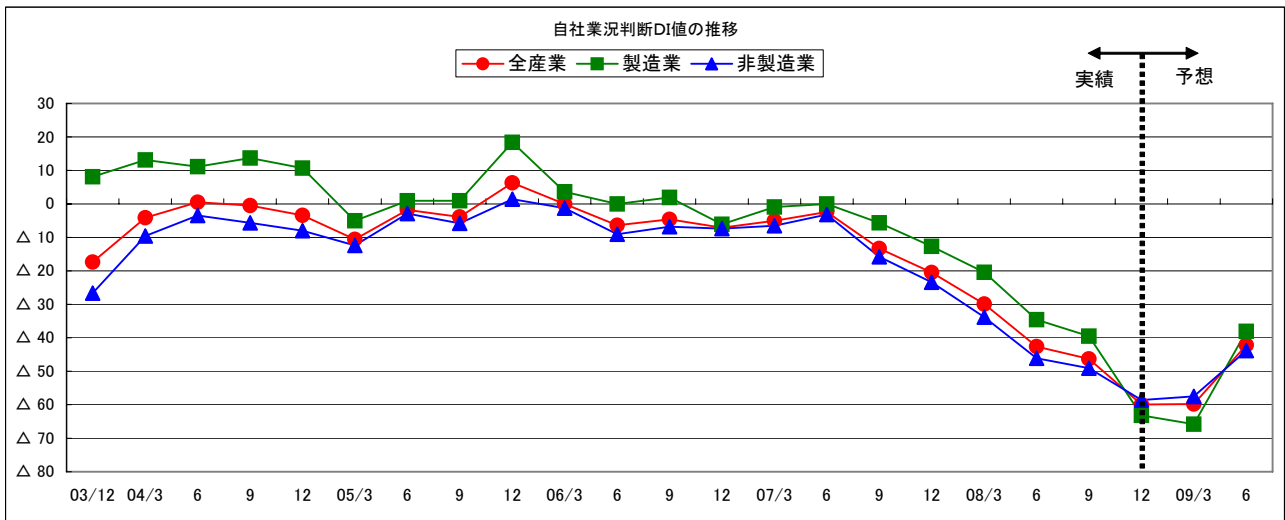
※自社業況判断D I = 「好転」企業割合 - 「悪化」企業割合

① 自社業況判断D Iは「悪化」超幅拡大

自社業況判断D Iの全産業は△59.9と前回調査実績に比べ13.6ポイント「悪化」超幅が拡大した。製造業は△63.2と同23.7ポイント「悪化」超幅が拡大し、非製造業は△58.6と同9.5ポイント「悪化」超幅が拡大した。

② 今後、「悪化」超幅が縮小する見通し

今後は、全産業で「悪化」超幅が横ばいで推移し、期が進むにつれ「悪化」超幅が縮小する見通し。



(2) 売上・生産D I、受注D I

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
売上生産DI 全産業	△ 28.6	△ 32.5	△ 48.0	△ 33.7	△ 55.2	△ 21.7	△ 41.3
製造業	△ 18.5	△ 24.8	△ 54.0	△ 28.4	△ 66.7	△ 11.4	△ 33.0
非製造業	△ 33.3	△ 35.8	△ 45.6	△ 36.0	△ 50.7	△ 26.2	△ 44.6
受注D I 製造業	△ 21.4	△ 30.7	△ 62.9	△ 33.6	△ 71.2	△ 10.6	△ 35.6
受注D I 建設業	△ 23.4	△ 22.2	△ 31.3	△ 24.4	△ 40.7	△ 20.7	△ 40.0

※前年同期比

※売上・生産D I = 「増加」企業割合 - 「減少」企業割合

※受注D I = 「増加」企業割合 - 「減少」企業割合

① 売上・生産D Iは全産業で「減少」超幅拡大

全産業の売上・生産D Iは△48.0と前回調査実績に比べ15.5ポイント「減少」超幅が拡大した。製造業は△54.0と同29.2ポイント「減少」超幅が拡大し、非製造業は△45.6と同9.8ポイント「減少」超幅が拡大した。

② 受注D Iは製造業、建設業とも「減少」超

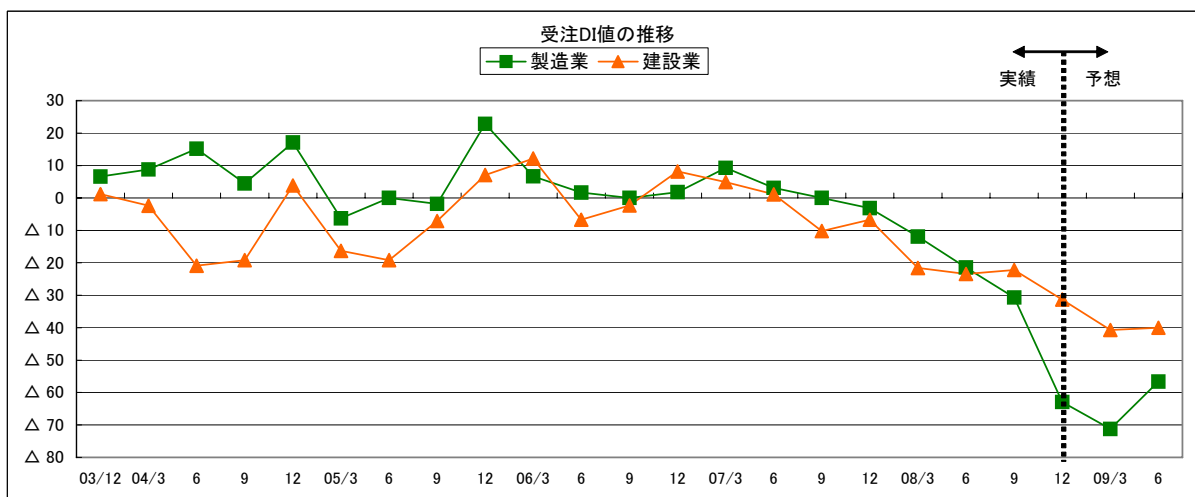
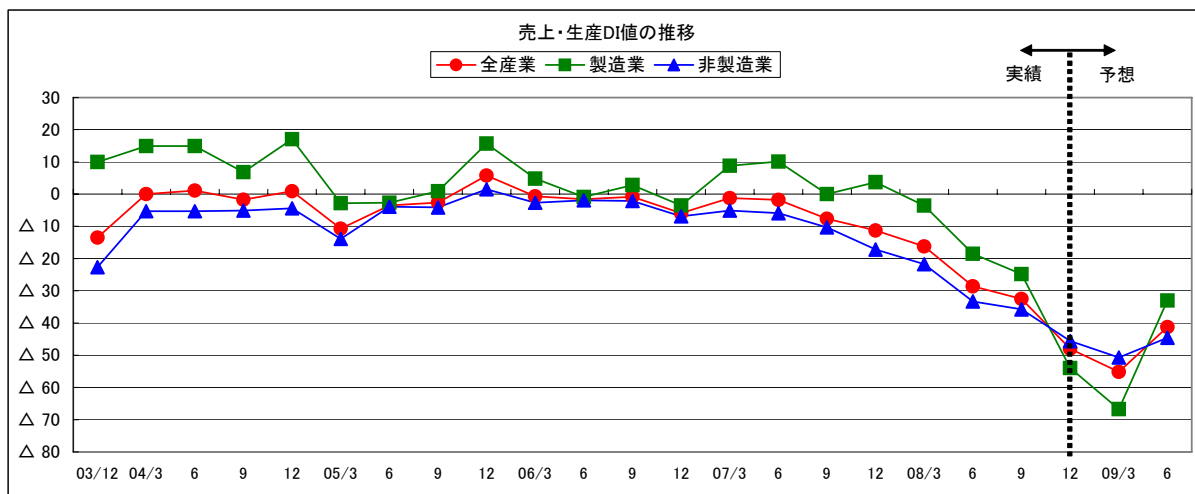
受注D Iは、製造業は△62.9と前回調査実績に比べ32.2ポイント「減少」超幅が拡大し、建設業は△31.3と同9.1ポイント「減少」超幅が拡大した。

③ 今後、売上・生産D Iは「減少」超幅が拡大する見通し

売上・生産D Iは、△55.2と「減少」超が拡大し、期が進むにつれ「減少」超幅が縮小する見通しである。

④ 今後、受注D Iの製造業は「減少」超幅が拡大し、建設業は「減少」超幅が拡大する見通し

受注D Iは、製造業は「減少」超幅が拡大し、期が進むにつれ縮小する見通し。建設業は「減少」超幅が拡大し、期が進むにつれ横ばいで推移する見通し。



(3) 販売価格D I、仕入価格D I

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
販売価格DI・全産業	10.8	9.0	△ 9.2	2.2	△ 20.4	1.7	△ 20.9
製造業	12.2	12.3	0.9	8.0	△ 17.1	2.7	△ 18.0
非製造業	10.2	7.5	△ 13.4	△ 0.4	△ 21.7	1.2	△ 22.1
うち卸・小売業	37.5	29.0	△ 6.2	11.8	△ 15.5	5.4	△ 15.8
仕入価格DI・全産業	69.7	75.7	36.7	56.4	6.0	43.0	△ 0.3
製造業	74.0	76.1	49.6	60.4	3.6	40.0	△ 9.0
非製造業	67.7	75.6	31.2	54.7	6.9	44.4	3.5
うち卸・小売業	67.0	63.3	22.8	44.4	2.2	31.8	△ 2.2

※前年同期比

※販売・仕入価格D I = 「上昇」企業割合 - 「低下」企業割合

① 販売価格D Iは「低下」超に転じる

販売価格D Iは、全産業で△9.2と前回調査実績に比べ18.2ポイント「低下」超幅が拡大し「低下」超に転じた。製造業は0.9と前回調査実績に比べ11.4ポイント「上昇」超幅が縮小した。非製造業は△13.4と20.9ポイント「低下」超幅が拡大し「低下」超に転じた。非製造業のうち卸・小売業は△6.2と35.2ポイント「低下」超幅が拡大し「低下」超に転じた。

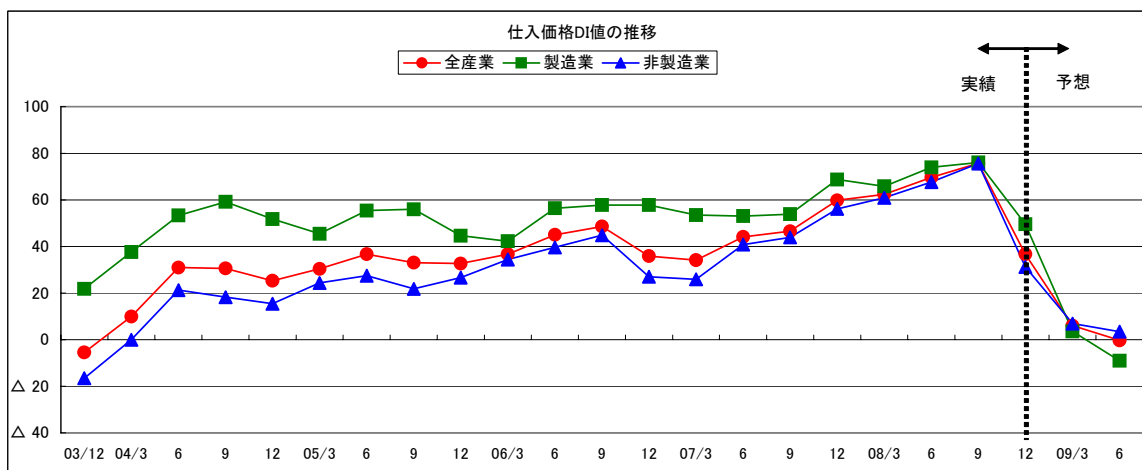
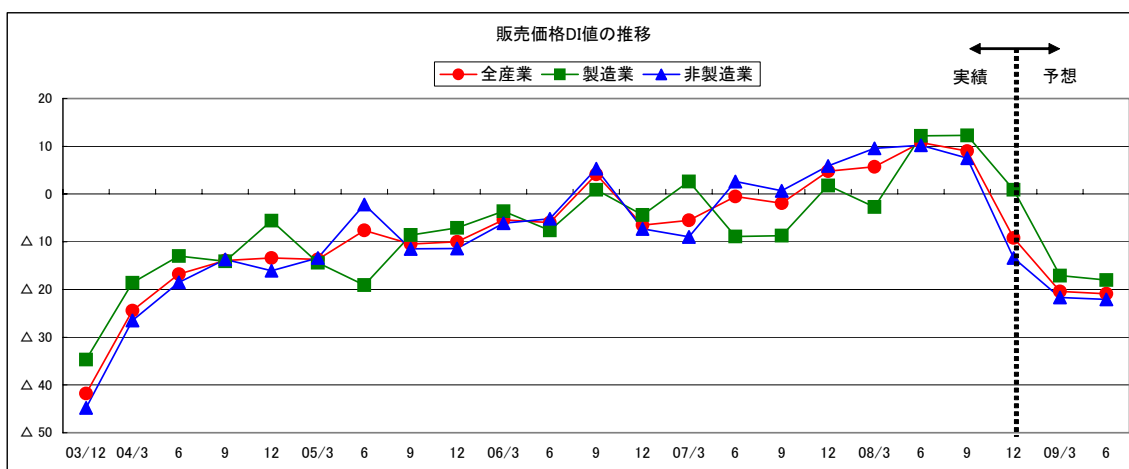
② 仕入価格D Iは「上昇」超幅が縮小

仕入価格D Iは、全産業で36.7と前回調査実績に比べ39.0ポイント「上昇」超幅が縮小した。製造業は49.6と前回調査実績に比べ26.5ポイント「上昇」超幅が縮小した。非製造業は31.2と同44.4ポイント「上昇」超幅が縮小し、うち卸・小売業は22.8と前回調査実績に比べ40.5ポイント「上昇」超幅が縮小した。

③ 今後、販売価格D Iは「低下」超幅拡大、仕入価格D Iは「低下」超に転じる見通し

販売価格D Iは、全産業で期が進むにつれ「低下」超幅が拡大する見通しである。

仕入価格D Iは、全産業で期が進むにつれ「上昇」超幅が縮小し、「低下」超に転じる見通しである。



(4) 取引条件 (受取(回収)D I、支払条件D I)

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
受取(回収)条件D I 全産業	△ 7.7	△ 6.9	△ 7.3	△ 6.7	△ 6.1	△ 5.3	△ 5.2
製造業	△ 4.0	0.0	△ 0.9	△ 2.6	△ 0.9	△ 1.8	△ 1.8
非製造業	△ 9.4	△ 9.9	△ 9.9	△ 8.5	△ 8.1	△ 6.8	△ 6.5
支払い条件D I 全産業	0.0	△ 0.3	△ 0.7	1.8	△ 0.5	1.3	1.0
製造業	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.7	0.9	△ 2.6	0.9	△ 0.9
非製造業	0.4	0.0	△ 0.3	2.2	0.3	1.5	1.7

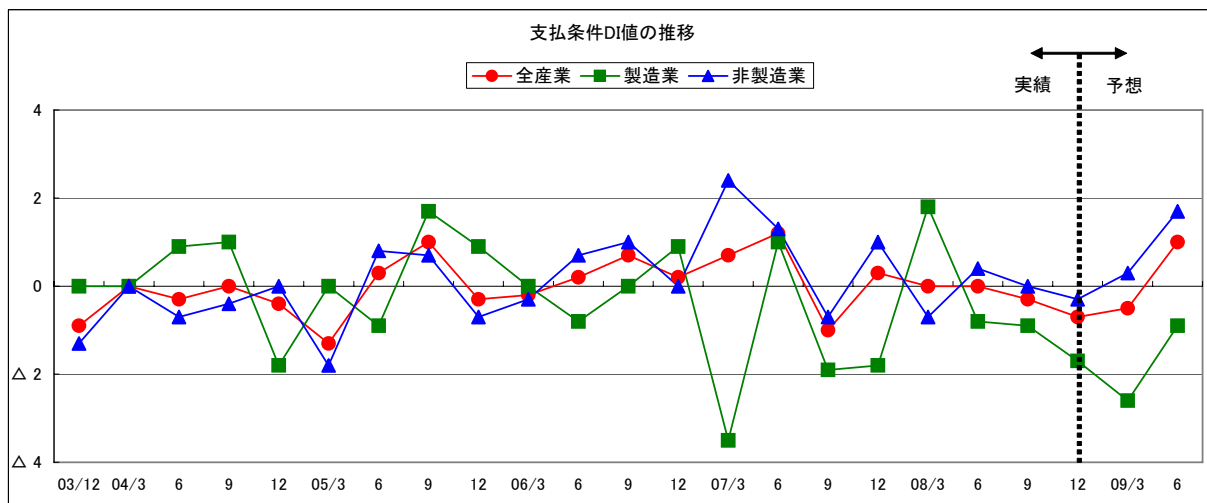
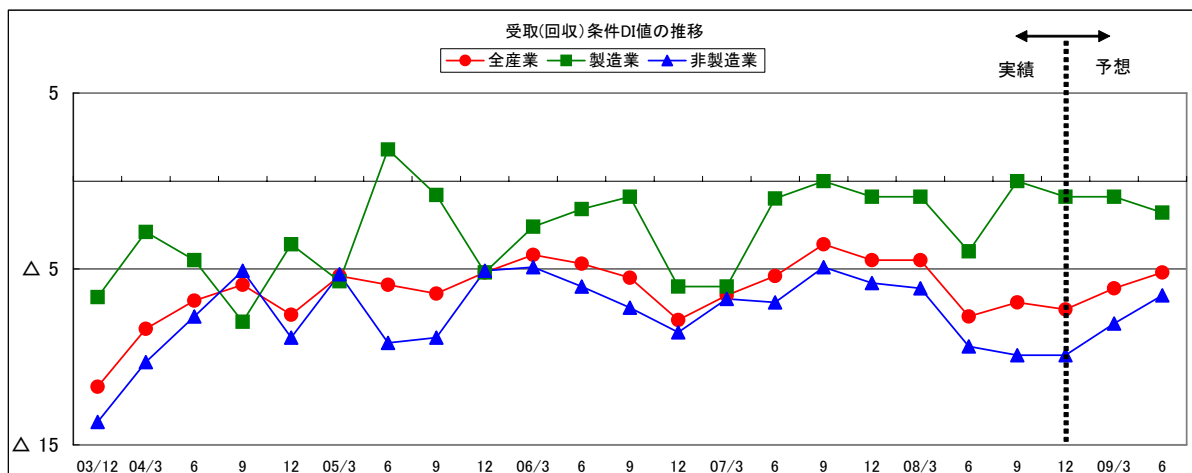
※前年同期比 ※受取(回収)条件D I = 「好転」企業割合 - 「悪化」企業割合
 (好転…短くなった(短くなる) 悪化…長くなった(長くなる))
 ※支払条件D I = 「好転」企業割合 - 「悪化」企業割合
 (好転…長くなった(長くなる) 悪化…短くなった(短くなる))

① 受取(回収)条件D Iは「悪化」超幅拡大、支払条件D Iは「悪化」超幅拡大

受取(回収)条件D Iは、全産業は△7.3 と前回調査実績に比べ 0.4 ポイント「悪化」超幅が拡大した。製造業は△0.9 と同 0.9 ポイント「悪化」超幅が拡大し、非製造業は△9.9 と同横ばいとなった。
 支払条件D Iは、全産業は△0.7 と前回調査実績に比べ 0.4 ポイント「悪化」超幅が拡大した。製造業は△1.7 と同 0.8 ポイント「悪化」超幅が拡大し、非製造業は 0.3 と同 0.3 ポイント「悪化」超幅が拡大した。

② 今後、受取(回収)条件D Iは「悪化」超幅縮小、支払条件D Iは「好転」超に転じる見通し

受取(回収)条件D Iの全産業は「悪化」超幅が縮小し、支払条件D Iの全産業は「悪化」超幅が縮小し、期が進むにつれ「好転」超に転じる見通し。



(5) 金融（資金繰りD I、長期・短期借入難易D I）

	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12		2009/1～3		2009/4～6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
資金繰りD I	△ 17.6	△ 21.1	△ 27.3	△ 20.0	△ 25.8	△ 15.8	△ 21.1
全産業							
製造業	△ 8.7	△ 18.9	△ 27.6	△ 14.4	△ 27.0	△ 7.7	△ 16.8
非製造業	△ 21.4	△ 22.0	△ 27.1	△ 22.3	△ 25.3	△ 19.2	△ 22.6
長期借入難易D I	△ 9.9	△ 11.3	△ 15.7	△ 10.0	△ 18.9	△ 8.7	△ 15.1
全産業							
製造業	△ 0.8	△ 6.2	△ 16.0	△ 4.5	△ 19.6	△ 4.5	△ 11.3
非製造業	△ 14.3	△ 13.5	△ 15.6	△ 12.4	△ 18.6	△ 10.7	△ 16.5
短期借入難易D I	△ 8.8	△ 9.9	△ 15.9	△ 10.1	△ 18.1	△ 9.9	△ 14.5
全産業							
製造業	△ 0.8	△ 7.0	△ 15.0	△ 4.5	△ 18.9	△ 4.6	△ 10.5
非製造業	△ 12.8	△ 11.2	△ 16.3	△ 12.5	△ 17.8	△ 12.2	△ 16.1

※前年同期比

※資金繰りD I = 「好転」企業割合 - 「悪化」企業割合

※借入難易D I = 「容易」企業割合 - 「困難」企業割合

① 資金繰りD Iは「悪化」超幅拡大

資金繰りD Iは全産業で△27.3と前回調査実績に比べ6.2ポイント「悪化」超幅が拡大した。製造業は△27.6と同8.7ポイント「悪化」超幅が拡大した。非製造業は△27.1と同5.1ポイント「悪化」超幅が拡大した。

② 長期借入難易D Iは「悪化」超幅拡大

長期借入難易D Iは、全産業は△15.7と前回調査実績に比べ4.4ポイント「困難」超幅が拡大した。製造業は△16.0と同9.8ポイント「困難」超幅が拡大した。非製造業は△15.6と同2.1ポイント「困難」超幅が拡大した。

③ 短期借入難易D Iは「困難」超幅拡大

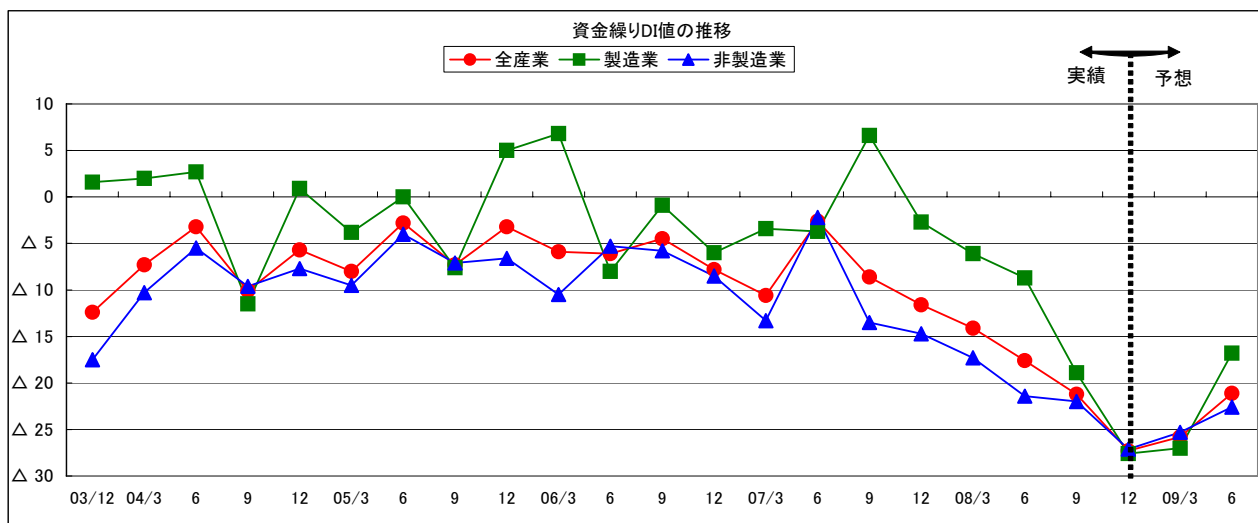
短期借入難易D Iは、全産業は△15.9と前回調査実績に比べ6.0ポイント「困難」超幅が拡大した。製造業は△15.0と同8.0ポイント「困難」超幅が拡大した。非製造業は△16.3と同5.1ポイント「困難」超幅が拡大した。

④ 今後、資金繰りD Iは「悪化」超幅縮小、借入難易D Iは「困難」超幅縮小の見通し

資金繰りD Iの全産業は、「悪化」超幅が縮小する見通し。

長期借入難易D Iの全産業は、「困難」超幅が拡大し、期が進むにつれ「困難」超幅が縮小し今回調査比横ばいで推移する見通し。

短期借入難易D Iの全産業は、「困難」超幅が拡大し、期が進むにつれ「困難」超幅が縮小する見通しである。



(6) 在庫D I

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
全 産 業	△ 12.9	△ 15.0	△ 20.8	△ 5.4	△ 12.2	△ 2.5	△ 5.6
製 造 業	△ 12.7	△ 11.3	△ 18.3	△ 1.8	△ 14.4	0.0	△ 4.8
卸・小売	△ 13.0	△ 19.6	△ 23.7	△ 9.9	△ 9.8	△ 5.6	△ 6.7

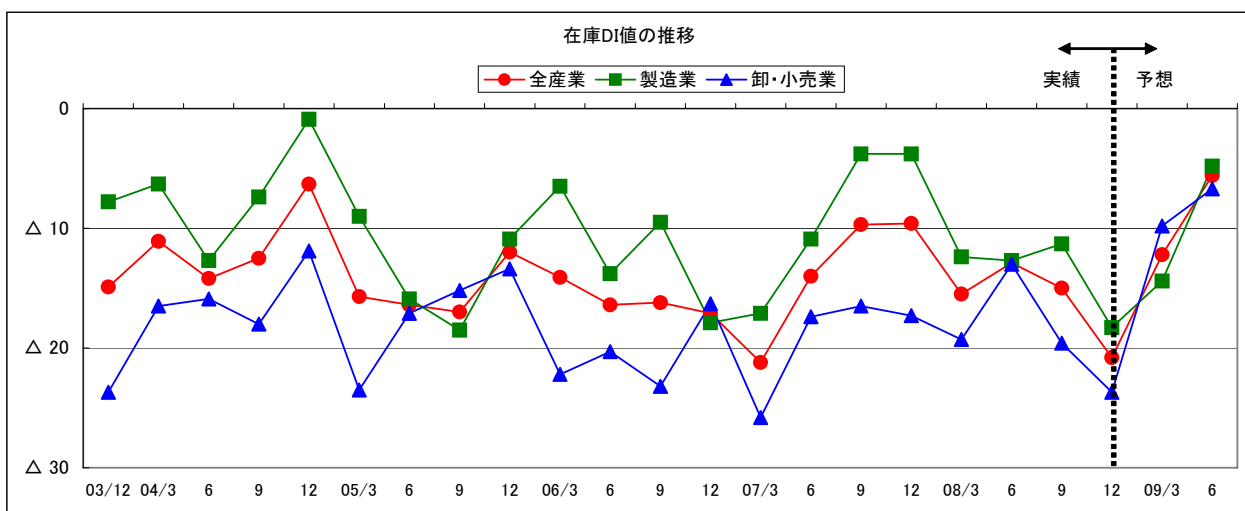
※前年同期比 ※在庫D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合

① 在庫D Iは全産業で「過剰」超幅拡大

在庫D Iは、全産業は△20.8と前回調査実績に比べ5.8ポイント「過剰」超幅が拡大した。製造業は△18.3と前回調査実績に比べ7.0ポイント「過剰」超幅が拡大した。卸・小売業は△23.7と同4.1ポイント「過剰」超幅が拡大した。

② 今後、全産業で「過剰」超幅が縮小する見通し

今後は、全産業で期が進むにつれ「過剰」超幅が縮小する見通しである。



(7) 経常利益D I

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
全 産 業	△ 35.9	△ 39.2	△ 45.3	△ 38.4	△ 44.6	△ 29.7	△ 37.2
製 造 業	△ 29.6	△ 34.2	△ 51.8	△ 36.1	△ 55.4	△ 22.9	△ 40.5
非 製 造 業	△ 38.7	△ 41.3	△ 42.9	△ 39.4	△ 40.7	△ 32.5	△ 36.0

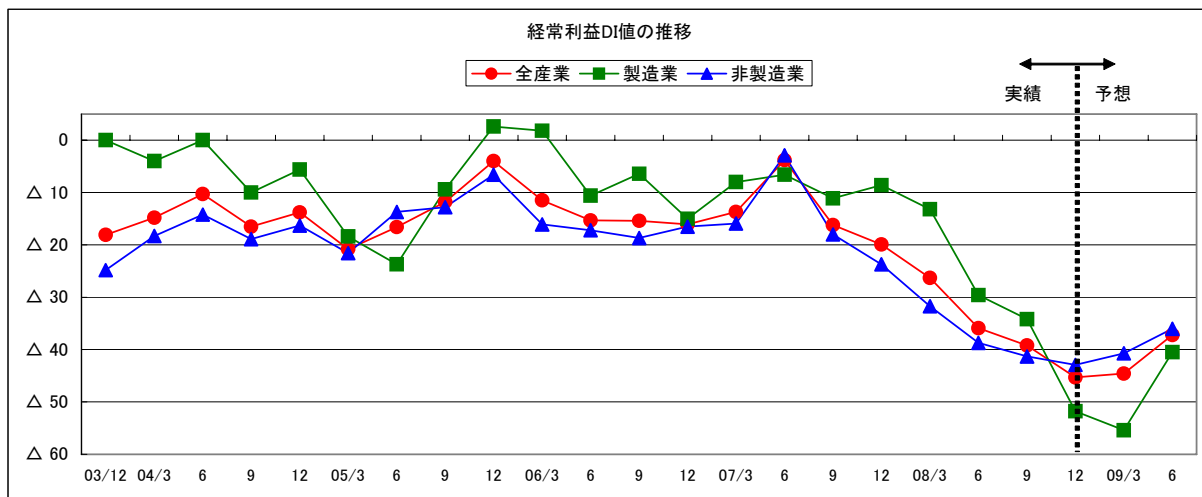
※前年同期比 ※経常利益D I = 「増加」企業割合 - 「減少」企業割合

① 経常利益D Iは全産業で「減少」超幅拡大

経常利益D Iは、全産業で△45.3と前回調査実績に比べ6.1ポイント「減少」超幅が拡大した。製造業は△51.8と同17.6ポイント「減少」超幅が拡大し、非製造業は△42.9と同1.6ポイント「減少」超幅が拡大した。

② 今後は全産業で「減少」超幅が縮小する見通し

今後は、全産業は期が進むにつれ「減少」超幅が縮小する見通しである。



(8) 雇用D I

	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12		2009/1~3		2009/4~6
	前々回 調査実績	前回 調査実績	今回 調査実績	前回 見通し	今回 見通し	前回 見通し	今回 見通し
全産業	△ 1.2	1.7	1.6	△ 5.9	7.4	△ 3.2	9.5
製造業	6.3	5.0	15.7	△ 0.8	24.6	2.6	11.4
非製造業	△ 4.4	0.3	△ 3.5	△ 8.0	1.0	△ 5.6	8.8

※前年同期比

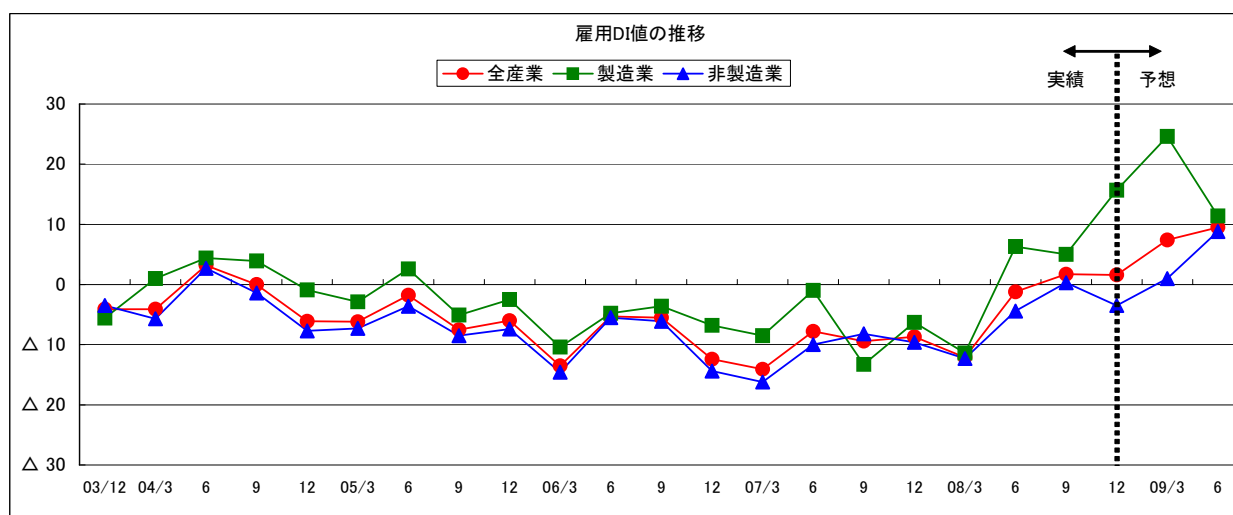
※雇用D I = 「過剰」企業割合 - 「不足」企業割合

① 雇用D Iは「過剰」超に転じる

雇用D Iの全産業は1.6で前回調査実績に比べ横ばいとなった。製造業は15.7と同10.7ポイント「過剰」超幅が拡大した。非製造業は△3.5と同3.8ポイント「不足」超幅が拡大し「不足」超となった。

② 今後は「過剰」超幅が拡大する見通し

全産業で「過剰」超幅が拡大する見通しである。



(9) 設備投資

◇設備投資実績・計画の比率

(単位:%)

	実施企業割合 (合計)	10百万円以上の 設備投資割合	10百万円未満の 設備投資割合
実績 (10～12月) 全産業	24.8	9.6	15.1
製造業	27.4	9.4	17.9
非製造業	23.8	9.7	14.1
計画 (1～3月) 全産業	16.1	6.4	9.6
製造業	18.8	6.8	12.0
非製造業	15.0	6.3	8.8
計画 (4～6月) 全産業	13.3	6.2	7.1
製造業	19.7	9.4	10.3
非製造業	11.0	5.0	6.0

※ 設備投資実績・計画で10百万円以上の設備投資と10百万円未満の設備投資の両方があった場合は、10百万円以上の件数にカウントした

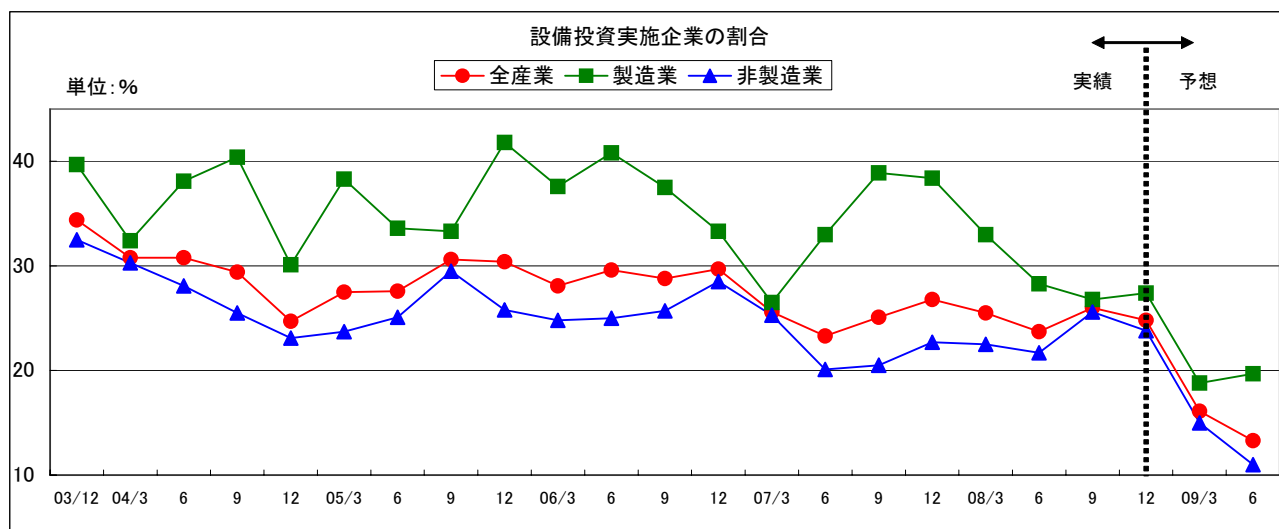
① 設備投資実施企業割合は24.8%、前回調査実績より減少

設備投資を実施した企業の割合は、全産業は24.8%で前回調査実績に比べ1.2ポイント減少した。製造業は27.4%で同0.6ポイント増加し、非製造業は23.8%で同1.8ポイント減少した。

② 今後、全産業の設備投資実施企業割合は減少する見通し

設備投資を計画している企業の割合は、全産業は2009年1～3月期は16.1%で今回調査実績に比べ8.7ポイント減少し、2009年4～6月期は13.3%で同11.5ポイント減少する見通しである。製造業は、2009年1～3月期は18.8%で今回調査実績に比べ8.6ポイント減少し、2009年4～6月期は19.7%で同7.7ポイント減少する見通しである。

非製造業は、2009年1～3月期は15.0%で今回調査実績に比べ8.8ポイント減少し、2009年4～6月期は11.0%で同12.8ポイント減少する見通しである。



◇設備投資の目的

(単位:%)

	設備投資の目的								
	売上増加・能力拡充	合理化・省力化	品質の向上	現有設備の維持更新	新製品・新分野進出	福利厚生	公害防止	研究開発	その他
実績(10~12月) 全産業	35.2	21.3	12.0	58.3	8.3	2.8	0.9	1.9	10.2
製造業	15.6	31.3	21.9	56.3	15.6	0.0	0.0	3.1	9.4
非製造業	43.4	17.1	7.9	59.2	5.3	3.9	1.3	1.3	10.5
計画(1~3月) 全産業	42.9	21.4	14.3	57.1	14.3	4.3	0.0	1.4	7.1
製造業	27.3	40.9	22.7	40.9	31.8	0.0	0.0	0.0	9.1
非製造業	50.0	12.5	10.4	64.6	6.3	6.3	0.0	2.1	6.3
計画(4~6月) 全産業	43.1	19.0	20.7	60.3	10.3	3.4	0.0	1.7	8.6
製造業	26.1	34.8	30.4	47.8	21.7	0.0	0.0	0.0	8.7
非製造業	54.3	8.6	14.3	68.6	2.9	5.7	0.0	2.9	8.6

※実績・計画の比率 … 実績・計画ありの企業数÷回答企業数×100

設備投資目的別の比率 … 項目別回答数÷実績・計画ありの企業数×100

(複数回答のため合計は100%を超える)

※網かけの数字は上位3項目

① 設備投資の目的の第1位は「現有設備の維持更新」

	第1位	第2位	第3位
全産業	現有設備の維持更新	売上増加・能力拡充	合理化・省力化
製造業	現有設備の維持更新	合理化・省力化	品質の向上
非製造業	現有設備の維持更新	売上増加・能力拡充	合理化・省力化

② 前回調査実績に比べ全産業で減少項目が増加し増加項目は2項目 (単位:ポイント)

- 全産業 増加…「その他」2.9、「研究開発」0.1
減少…「品質の向上」7.3、「現有設備の維持更新」6.8、「新製品・新分野進出」4.5
- 製造業 増加…「その他」6.4、「研究開発」0.1
減少…「売上増加・能力拡充」32.9、「品質の向上」17.5、「合理化・省力化」17.2
- 非製造業 増加…「売上増加・能力拡充」13.1、「合理化・省力化」6.6、「福利厚生」2.6
減少…「現有設備の維持更新」6.6、「品質の向上」2.6、「公害防止」2.6

③ 設備投資の目的「その他」の内容

- 店舗拡張
- 設備リニューアル
- 新地域への進出
- 駐車場拡張
- 新店舗出店
- 事務所新設
- 車両入れ替え

(10) 経営上の問題点

(単位:%)

	売上・生産の停滞、減少	人件費等経費増加	原材料・仕入高	製品・商品安	資金不足・調達困難	資金繰り悪化	生産能力・設備不足	合理化・省力化不足	人手不足・求人難	その他
全産業	69.0	16.1	40.1	16.1	8.5	21.1	4.4	9.9	6.0	3.9
製造業	70.1	17.1	43.6	28.2	6.8	17.9	6.0	9.4	2.6	4.3
素材業種	84.6	7.7	38.5	46.2	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7
加工業種	68.8	20.8	37.5	20.8	4.2	18.8	6.3	14.6	2.1	4.2
その他業種	67.9	16.1	50.0	30.4	7.1	19.6	7.1	5.4	3.6	3.6
非製造業	68.7	15.7	38.9	11.6	9.1	22.3	3.8	10.0	7.2	3.8
建設業	67.8	14.9	58.6	10.3	12.6	26.4	3.4	9.2	4.6	2.3
卸売業	70.6	20.6	44.1	11.8	8.8	20.6	2.9	11.8	2.9	5.9
小売業	68.8	6.3	32.8	15.6	6.3	29.7	3.1	12.5	4.7	3.1
運輸業	72.5	30.0	32.5	10.0	5.0	20.0	5.0	5.0	20.0	5.0
情報通信業	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
飲食店・サービス	66.7	14.4	26.7	11.1	10.0	15.6	4.4	11.1	6.7	4.4

※ 比率＝項目別回答数÷回答企業数×100(複数回答のため合計は100%を超える)

※ 製造業のうち 素材業種：繊維、パルプ・紙、化学、鉄鋼、非鉄金属
加工業種：金属製品、一般機械、電気機械、輸送用機械、精密機械
その他業種：食料品、木材・木製品、窯業・土石、その他製造業

※ 網かけの数字は上位3項目

① 経営上の問題点の第1位は「売上・生産の停滞、減少」

	第1位	第2位	第3位
全産業	売上・生産の停滞、減少	原材料・仕入高	資金繰り悪化
製造業	売上・生産の停滞、減少	原材料・仕入高	製品・商品安
非製造業	売上・生産の停滞、減少	原材料・仕入高	資金繰り悪化






② 前回調査に比べ全産業で「売上・生産の停滞、減少」が増加 (単位:ポイント)

- 全産業
 - 増加…「売上・生産の停滞、減少」11.4、「資金繰り悪化」5.1、「資金不足・調達困難」1.6
 - 減少…「原材料・仕入高」21.8、「人手不足・求人難」5.2、「人件費等経費増加」2.2、「合理化・省力化不足」2.2
- 製造業
 - 増加…「売上・生産の停滞、減少」19.7、「製品・商品安」6.2、「資金繰り悪化」4.9
 - 減少…「原材料・仕入高」32.8、「人手不足・求人難」8.0、「合理化・省力化不足」3.6
- 非製造業
 - 増加…「売上・生産の停滞、減少」8.1、「資金繰り悪化」5.1、「資金不足・調達困難」1.4
 - 減少…「原材料・仕入高」17.0、「人件費等経費増加」4.8、「人手不足・求人難」4.2






5. 地域別の状況

(1) 景況天気図（売上・生産D I、経常利益D I、資金繰りD Iの平均値）






県南地域

	前々回調査実績		前回調査実績		今回調査実績		見通し			
	2008/4~6		2008/7~9		2008/10~12		2009/1~3 2009/4~6			
景況天気図（平均値）		△ 30		△ 36		△ 43		△ 47		△ 32
売上・生産D I		△ 30.1		△ 40.0		△ 48.6		△ 62.1		△ 40.4
経常利益D I		△ 41.7		△ 44.3		△ 50.7		△ 47.7		△ 35.3
資金繰りD I		△ 17.3		△ 22.4		△ 29.3		△ 30.3		△ 21.4






県西地域

	前々回調査実績		前回調査実績		今回調査実績		見通し			
	2008/4~6		2008/7~9		2008/10~12		2009/1~3 2009/4~6			
景況天気図（平均値）		△ 21		△ 29		△ 39		△ 36		△ 27
売上・生産D I		△ 20.2		△ 28.7		△ 49.6		△ 49.2		△ 35.2
経常利益D I		△ 25.4		△ 37.5		△ 43.1		△ 38.2		△ 30.0
資金繰りD I		△ 18.8		△ 20.8		△ 23.3		△ 19.5		△ 15.3






鹿行地域

	前々回調査実績		前回調査実績		今回調査実績		見通し			
	2008/4~6		2008/7~9		2008/10~12		2009/1~3 2009/4~6			
景況天気図（平均値）		△ 30		△ 27		△ 52		△ 56		△ 48
売上・生産D I		△ 30.2		△ 31.6		△ 59.5		△ 64.3		△ 57.1
経常利益D I		△ 40.9		△ 27.9		△ 64.4		△ 72.7		△ 57.8
資金繰りD I		△ 17.8		△ 20.9		△ 33.3		△ 30.4		△ 30.4

県央地域

	前々回調査実績		前回調査実績		今回調査実績		見通し			
	2008/4~6		2008/7~9		2008/10~12		2009/1~3 2009/4~6			
景況天気図（平均値）		△ 18		△ 15		△ 28		△ 34		△ 39
売上・生産D I		△ 7.4		△ 6.7		△ 29.6		△ 37.0		△ 40.7
経常利益D I		△ 32.1		△ 21.9		△ 24.1		△ 34.5		△ 44.8
資金繰りD I		△ 13.8		△ 15.2		△ 30.0		△ 30.0		△ 30.0

県北地域

	前々回調査実績		前回調査実績		今回調査実績		見通し			
	2008/4~6		2008/7~9		2008/10~12		2009/1~3 2009/4~6			
景況天気図（平均値）		△ 35		△ 38		△ 36		△ 39		△ 37
売上・生産D I		△ 41.2		△ 39.7		△ 45.8		△ 56.1		△ 48.2
経常利益D I		△ 40.7		△ 50.8		△ 35.4		△ 38.1		△ 40.6
資金繰りD I		△ 23.0		△ 23.1		△ 26.9		△ 24.2		△ 23.1

① 地域別景況天気図

県南地域、県西地域、鹿行地域、県北地域は「雨」、県央地域は「曇り」となった。県西地域・鹿行地域は「曇り」から「雨」に悪化した。県南地域と県北地域は前回調査実績と同じ「雨」となり、県央地域は前回調査実績と同じ「曇り」となった。

売上・生産D I、経常利益D I、資金繰りD Iの平均値は、県南地域、県西地域、鹿行地域、県央地域で前回調査実績に比較して悪化した。県北地域は2ポイント改善した。

② 今後の見通し

県南地域、鹿行地域、県央地域、県北地域は、2009年1~3月、4~6月ともに「雨」となる見通し。県西地域は、2009年1~3月は「雨」、4~6月は「曇り」に好転する見通しである。

(2) 自社業況判断D I

	前々回調査実績	前回調査実績	今回調査実績	見通し	見通し
	2008/4~6	2008/7~9	2008/10~12	2009/1~3	2009/4~6
県南地域	△ 47.1	△ 54.3	△ 60.4	△ 62.3	△ 43.2
県西地域	△ 44.7	△ 42.3	△ 62.8	△ 55.8	△ 37.5
鹿行地域	△ 38.6	△ 39.5	△ 68.2	△ 73.3	△ 51.1
県央地域	△ 25.0	△ 36.7	△ 46.7	△ 53.3	△ 53.3
県北地域	△ 41.7	△ 46.9	△ 56.3	△ 57.1	△ 39.7

① 自社業況判断D Iは全ての地域で「悪化」超

自社業況判断D Iは全ての地域で「悪化」超となり、「悪化」超幅が拡大した。

② 今後、全ての地域で「悪化」超で推移する見通し

県南地域、県西地域、鹿行地域、県北地域は、期が進むにつれ「悪化」超幅が縮小する見通しである。県央地域は「悪化」超幅が拡大し、その後は横ばいで推移する見通しである。

(3) 設備投資

(単位：%)

今回調査実績 2008/10~12	県南地域	県西地域	鹿行地域	県央地域	県北地域
全産業	29.7	23.1	26.1	23.3	16.4
製造業	31.7	33.3	37.5	0.0	15.8
非製造業	29.1	18.9	23.7	33.3	16.7

● 設備投資を実施した企業の割合は県南地域が最も高い

設備投資を実施した企業の割合は、全産業では県南地域が29.7%と最も高く、次いで鹿行地域、県西地域、県央地域、県北地域の順であった。

● 製造業は、鹿行地域が37.5%と最も高く、次いで県西地域、県南地域、県北地域、県央地域の順であった。

● 非製造業は、県央地域が33.3%と最も高く、次いで県南地域、鹿行地域、県西地域、県北地域の順であった。